



20阿ふ第124号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

阿 智 村



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼の標記については、別紙のとおり提出
します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

長野県 阿智村

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

長野県 阿智村

○現状

道路は、豊かな住民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、広域的な交流や地域の連携を図る上でも計画的な整備が重要です。

当村は、複雑で急峻な地形であり、自動車は重要な移動手段となっています。

住民の安全な日常生活の確保及び生活環境の不便を解消するため、道路整備が停滞することなく推進される事が重要です。

今後、道路構造物の老朽化が進み特に、橋梁については架け替えなどに莫大な費用がかかることが考えられます。当村のような小さな自治体の財政状況は大変厳しく「橋梁の長寿命化修繕計画」策定後の修繕等に国の積極的な補助(補助率のアップ)が必要です。

国道153号につきましては、当村と中京圏を結ぶ重要な幹線道路であります。大型車輛の交差に狭隘であるため支障をきたしている、愛知県の伊勢神トンネルの改良。浪合寒原から駒場大橋まで8km近く続く7%の下り勾配区間で多発する、大型車両の転落・横転事故は、その地域に暮らしている人々の毎日の生活自体に不安を与えています。地域住民が安心して生活できるよう安全対策、道路の構造の改善が必要です。

当村のような小さな自治体では、村道の舗装・改良はなかなか出来ません。

道州制議論は地方分権を推し進めるためではないと思いますが、もし道州制になったら現在の地方小規模自治体はもっと置き去りになるのではないのでしょうか。基礎自治体があって山林・農地・河川を上流で守っているから環境が保全されています。

小規模自治体を存続していく保障が必要です、勿論自らも頑張っていきます。

○課題

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

長野県 阿智村

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

長野県 阿智村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他